

- 議 長 日程第5「一般質問」に入ります。
- 一般質問は通告順に行います。受付番号第1号、中野博君の一般質問を許します。登壇願います。
- 8 番 中 野 それでは質問をさせていただきます。受付番号第1号、質問議員第8番 中野博。件名、史上初となる「緊急事態宣言発令」を受けて。
- 要旨。全世界を震撼とさせている新型コロナウイルス。今まで人類が経験、想定もしなかった事態が猛威を振るい、現代の科学をもっても完全なる対処が見いだせない中、国家を挙げての危機管理対策を講じているが、先が見えないのが現状です。全国の自治体でも、町民の生命・財産を守るための考えられるあらゆる対策を練られており、松田町でもいち早く対策本部が設置されました。いつ収束が来るのか、町民の不安も増大をしています。予測できない暗中模索の中とは思いますが、今後のさらなる町としてのお考えをお聞かせください。
- なお、議員間同士の申合せによりまして、時間短縮を図るため、私の場合は再質問はいたしませんので、よろしく御回答のほどお願い申し上げます。以上です。
- 町 長 それでは中野議員の御質問にお答えをさせていただきます。
- まず、当町では新型コロナウイルス感染症から町民の生命や、及び健康を守り、生活や経済などに及ぼす影響を最小限に抑えるとともに、新型コロナウイルス感染症を撲滅するため、国の緊急事態宣言に先駆け、町の基本方針を定め、4月2日には町対策本部を設置し、4月7日に特別措置法第32条第1項に基づき、新型コロナウイルス緊急事態宣言が発出されたため、町対策本部は特別措置法に基づく対策本部へ移行いたしました。5月25日に緊急事態宣言は解除となりましたが、特別措置法に基づかない町対策本部として引き続き設置をし、新型コロナウイルス感染症総合対策を進めてまいります。
- これまでの町の対応ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、住民生活や中小企業等に甚大な影響が出ていることから、新型コロナウイルス感染症総合対策として、令和2年4月17日に一般会計補正予算（第2号）、及び令和2年5月19日に一般会計補正予算（第4号）により、生活支援、経済対策予算をお認めいただき、現在対応しているところでもございます。

感染症予防対策といたしまして、町、町民を対象とした直接的な支援といたしましては、マスクを1人当たり10枚の配布や、次亜塩素酸の配布、また石けんによる手洗いが推奨されておりますので、いつでも身近に除菌できる場所を確保することを目的に、安心して外出できるよう、石けんの設置・配布事業として行っております。石けんは、アレルギーや環境にも配慮された手洗い用の無添加なものを使い、各施設の蛇口につり下げる、ミカンを入れるオレンジのネットに入れて、公園やトイレ、学校をはじめとした町内施設39か所へ、5月22日に設置をいたしました。今後は、数に限りはございますが、町民の希望者に向けて配布をしたいというふうを考えております。

中小企業・小規模事業者等の支援金給付事業につきましては、国の緊急対策である持続化交付金の対象外となった事業者を支援することを目的に、売上げが前年同月比20%以上50%未満減少した、町内に事業所を有する中小企業等の法人及び個人事業主に一律10万円を給付するものでございます。6月1日から申請を開始しております。

移動販売事業感染症対策拡充分補助事業につきましては、移動販売車利用者が商品を購入する際に、1品20円を負担している分を、生活支援を目的に5か月間に限定して補助するもので、これも6月1日から開始をしているところでございます。

子育て世帯緊急支援事業につきましては、0歳児から高校生以下を養育する世代に対し、家計の負担を軽減することを目的に、町内で利用可能な飲食券や、及び商品券を第1子に2万円分、第2子以降に1万円分を加算し配布するもので、2回に分けて実施を考え、その第1弾として引換券及び利用を、6月10日から予定しております。

子育て世帯への臨時特別給付金事業につきましては、子育て世帯の生活を支援する取り組みの一つとして、児童手当を受給している世帯へ、対象児童・生徒1人当たり1万円を上乗せする臨時特別の給付金を支給するもので、5月12日に該当する580世帯にお知らせを配布済みで、6月11日に児童手当登録銀行口座等へ振り込む予定でございます。

感染症対策商工振興商品券発行事業補助金事業につきましては、既存のプレ

ミアム商品券事業を生活支援と地域内経済の活性化を図るため、発行総額3,600万円、プレミアム20%に拡充するものでございます。6月1日に広報等により周知し、6月8日から電話予約を始め、22日から販売を予定をしております。新型コロナウイルス感染症対策として、ごみ収集作業の感染症予防や、外出自粛やテイクアウト商品利用の増加に伴うごみの増加に対応するため、可燃ごみ用の町指定ごみ袋45リットル厚口に変更し、1世帯20枚入りを1パック、2人以上世帯に2パック配布するもので、7月中旬頃を予定しております。

次に、教育委員会の取り組みにつきましてお答えさせていただきます。5月25日をもって国の緊急事態宣言が解除されることを受けて、町立幼・小・中学校は6月1日から、感染症予防と対策を十分に講じながら、段階的に教育活動を始めております。これまでの休業中に約180万円を投入し、各家庭のインターネット整備を整え、オンライン学習ができるよう、子供たちにとって無理なく学びを保障できるように進めてまいりました。今後の感染状況により、再度休業措置を取らざるを得ない状況になっても、オンライン学習により、子供たちの学びが保障できる体制を整えておきたいというふうに考えております。

さて、今後のさらなる支援策といたしましては、現在町はコロナと共存の中での生活、経済支援といたしまして、国の第2次補正予算を活用し、国が主導している家賃補助、ひとり親家庭や大学生への生活・学業応援支援金給付事業について、町独自の支援策も検討しておりますが、現時点では国の方針等を鑑み対応したいと考えております。

また、そのほかの支援等につきましては、まだ素案の段階でございますが、生活支援として、感染された方の減収に伴う給付金等の支給や、ペットの飼い主が感染した場合のペット預かり費用の支援。子育て世代向けの支援といたしましては、3歳児から小学6年生までを対象とした子供用のマスクの配布。妊娠中から0歳児までを対象とした妊産婦への支援や、子ども成長応援助成金事業といたしまして、図書カードや知能向上玩具購入券などの支給。高齢者向けの生活支援といたしまして、オンラインを利用した高齢者見守り事業や、65歳以上を対象に商品券を配布する高齢者の生きがい向上支援。また、減収になった福祉サービス事業者への支援。経済支援といたしまして、1次産業事業者へ

の給付支援や、お客様の大半が町外の方を対象とした旅館、宿泊業者及びレジャーなど観光事業者への支援。生活・経済支援といたしまして、プレミアム商品券事業の第2弾や、タクシーによる配達支援。医療従事者への感謝を示す青色の花火を打ち上げる鎮魂のイベントの開催。さらには新たな創造・経済対策事業といたしまして、ジビエの加工場の整備事業、森林保全に係る従事者育成事業、旧寄中学校やみやまグラウンド等の新たな利活用を図るなど、寄地区における新たな事業の創出、企業版ふるさと納税の強化や、松田町ブランド品等の開発強化及び販路拡大支援事業などに取り組んでまいりたいというふうに考えております。

こういった取り組みを実施するためには、予算の確保が必要となり、その予算も限りがありますので、優先順位を考えるとともに、議員の皆様方や町民の皆様方の御理解、御協力が必要となっておりますので、今後もさまざまな生活や経済支援、感染リスク対策についても、皆様に情報を正確に、かつ迅速にお伝えし共有してまいります。国の第2次補正予算の町への配分額が決まり次第、直ちに補正予算の提案をしたいと考えておりますので、その際には改めてお力添えを賜りますようお願い申し上げます、以上、何とぞよろしくお願い申し上げます。終わります。以上です。

8 番 中 野 ありがとうございます。今後のあらゆる災害がやってくるのが想定される昨今でございます。町の職員の皆様方には、多大なる御苦勞があらうかと思われませんが、町民の安心・安全を守るため、今後ともさらなる御尽力のほどをよろしくお願い申し上げます。以上、終わります。

議 長 以上で受付番号第1号、中野博君の一般質問を終わります。
録画の操作の間、少々お待ちください。